

平成 27 年度第 1 回  
八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会会議録

開催日時	平成 27 年 7 月 2 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分
開催場所	大田原市役所 南別館 2 階会議室
出席者	<p>【委員 12 名】 小林会長、北島委員、江部委員、上田委員、吉岡委員、荻原委員、川崎委員、矢内委員、大相委員、鈴木（義）委員、鈴木（美）委員、大藤委員</p> <p>【欠席委員 11 名】 玉木副会長、屋代副会長、岡野委員、室井委員、村山委員、廣川委員、野口委員、鈴木（英）委員、押田委員、吉田委員、石井委員</p> <p>【オブザーバー 7 名】 那須塩原市、那須町、那珂川町、棚倉町、矢祭町、埴町、大子町</p> <p>【事務局 6 名】 総合政策部長、政策推進課（5）</p>

1 大田原市長挨拶（副市長代読、要旨）

- 津久井市長は別の公務があるため欠席となり、副市長が市長挨拶を代読する。
- 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会に遠方より、またご多忙の折ご出席いただき御礼申し上げます。
- 昨年 10 月に共生ビジョンを策定したが、毎年度所要の見直しを行うこととしているので、今年度も当圏域が抱える様々な課題に対するご意見、ご提言をいただき、今後それらの意見などをまとめ、共生ビジョンに反映していきたい。
- 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略において、「地域連携」の項目に定住自立圏の推進が明記されており、大田原市の総合戦略を策定する上でも八溝山周辺地域定住自立圏を推進することは、重要であると考えている。
- 八溝山周辺地域の活性化のために委員の皆様の幅広い知識やこれまでの経験を基にしたご意見、ご提言をお願いしたい。
- 委員の任期は、平成 26 年 6 月 18 日から平成 28 年 3 月 31 日となっているが、所属団体の役員の変更などの理由により、6 名の方を新たに委員として委嘱させていただく。

2 会長挨拶

立川市にある自治大学校で定期的に講義が組まれていて、地方自治体の中間管理職の方が、あるテーマに基づき、企画を立ててプレゼンテーションする研修があり、

それを私が講評するというものである。

少子化や健康づくりというテーマに対して、福祉や教育といった専門の方もいる一方で、環境、人事・総務、選挙管理委員会、水道などの担当の方も一緒に入る研修なので、違う視点からのアイデアがいくつも出て大変面白いものであった。

共生ビジョンについても、自分の専門外だからといって遠慮せずに発言をお願いしたい。

私も公共交通や観光などは素人だが、自分の視点で疑問を呈し、意見を言いたいと思っている。

そうすることによって、色々なアイデアが出て、議論も深まり、中身が膨らむと思っているので、自由な発言をお願いしたい。

### 3 内 容

#### (1) 八溝山周辺地域定住自立圏の取組について

資料 1 により事務局説明

(説明要旨)

○全国の定住自立圏構想の取組状況は、平成 27 年 4 月 1 日現在で圏域数が 89、協定締結団体数は 419 にまで伸びている。

また、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略には、平成 28 年度から 5 か年間でこの圏域数を 140 にすると明記されているので、今後も定住自立圏構想による広域連携は活発化するものと思われる。

○平成 27 年度連携事業に係る予算の一部を 9 月議会に計上する。議決後に事業費が確定するので、共生ビジョン改訂に係る最終案ができるのは 10 月初旬になる見込み。

○平成 28 年度の連携事業については、年度当初から事業に着手できるように当初予算に計上する予定。

○今年度の共生ビジョン懇談会は、2 回開催することを予定している。

⇒ 質問、意見等なし

#### (2) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの改訂について

資料 2、3、4 により事務局説明

(説明要旨)

○昨年度策定した八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンは、5 か年で計画したもののなので、今年度は大きな変更点はなく、一部の新たな事業を実施するにあたり、その事業の名称や費用などを追加するものである。

○資料 2 は、昨年度共生ビジョン懇談会から出た意見、提案に対する回答を一覧表にまとめたものである。

委員の提案を反映し、事業化に結びつけたものもある一方で、協定締結項目ではなかったり、国、県、その他関係機関との調整が必要なものもあるため、事業化していないものもある。

なお、事業化していない提案に対しては、大田原市の考え方などを記載した。  
○資料 3 は、平成 27 年度の連携事業を一覧表にまとめたものである。

連携市町から負担金をいただいて実施する「負担金事業」を 10 事業予定している。

事業費は 9 月議会終了後に確定するため、記載の金額は見込み額である。

○資料 4 は、共生ビジョンの抜粋であり、加筆、修正する予定の文言を赤字で記載している。

会長) 事務局の説明の中で、不明な部分であるとか事実確認したいことがあれば発言願いたい。

⇒ 質問、意見等なし

### (3) 意見交換

会長) 昨年度の共生ビジョン懇談会の意見についての取り扱いだが、事業として進行しているもの、取組が進みつつあるもののほか資料には記載していないが、行政側で取組もうとしているものもあると思う。

皆さんからは、やり方の提案でも結構だし、昨年度から議論はしていないが、新たにこういったものはできないかといった提案でも結構なので、色々なアイデアが出るように、専門外のことでも自由に発言をお願いしたい。

### ○意見交換 (質疑等)

委員

環境について一つ提案したい。

放射性汚染物質の最終処分のことになるが、那須町、那須塩原市を見渡すと、畜産農家の畑に刈り取られた牧草が山積みになっている。最初はシートに覆われていたが、時がたつとともにシートが破れそのままになっている。

家庭においても除染したものが敷地内に埋葬されている。

現在、最終処分場の問題で栃木県内でも大騒ぎしているが、このまま放っておくと、地区においては何らかの影響が出てくる、ゆくゆくは定住や観光面への風評被害につながるのではないかと考えている。

こういう問題も付け加えてはどうか。

- 会 長 大きなテーマになるが、現時点で中心市として言えることはあるか。  
また、共生ビジョンのテリトリーの中でどういった位置付けになるのか。
- 事務局 政策的、政治的なものもあり、また八溝という地域だけで取り組めることができるのかを含めてご回答いただければ。
- 委 員 委員がおっしゃった問題については、特措法（放射性物質汚染対処特措法）の中で対応することになっているため、一圏域、一市町村で解決できるものではないと思っています。  
しかし、この問題を長引かせることは、消費者に対する風評被害も懸念されます。
- 委 員 全ての市町が抱える共通課題でありますので、何らかの形で情報共有、交換の場がもてないか検討したいと思います。  
基本的に共生をするビジョンを作り上げていくということを考えると、その大元には、安心、安全、憩いというものがないと共生するビジョンが湧いてこないと感じます。そういったところで放射性汚染物質というのは深くかかわる話なのだと感じます。  
八溝山というと広いエリアを指しますが、八溝山の共生を阻害する大きな要因になっていると思います。山菜やキノコなど出荷制限がかけられている自治体もあります。観光面への風評被害もあります。  
定住自立圏共生ビジョンという大きな題名からすると、この問題の解決なくして、共生のビジョンはないのではなかろうかと感じるところです。
- 会 長 大変難しいテーマであると思うし、これだけ広域のエリアなので、温度差も当然あると思います。  
事業としてどうするかということをお話合っていますので、情報交換、意見交換を行政レベルでやっていただいて、その中で何か打つ手をやっていこうというのであれば、事業化ができる可能性があると思うが、個人的な見解をいうと、正面切ってこの問題に対応していくのが、プラスなのかマイナスなのか、かえって風評被害を助長してしまう危険性みたいなものもあるのではないかと、相当慎重に対応しなければならないのではないかと感じる。  
事実として風評被害に困っている方もいるということも承知しているので、取り上げ方については、よく行政レベルで議論していただきたいと思います。
- 委 員 広域観光の推進という点について、よく別の会議などでも言っているが、各市町において歴史に基づく施設等の整備を進めて、四国にはお遍路の文化がありますが、お遍路とは違った形でもって、一番大事なこと

は、予算がつくと何かやるというのが世の常でありまして、観光業に携わる者として、観光PRに時間が割かれ、本業がおろそかになってしまふ。

そういった形を無くすというわけではないが、常設型の観光というものを提唱しています。

どういうことかと言うと、点線網で結んだ観光の整備を進めることによって、勝手にお客さんがバーチャル化して歩いて、自転車で、バイクで、車で旅をしていく。

そして各施設でウエルカムの気持ちで接し、その地域の伝承などを身近な人が身近な気持ちで語り継いでいくといったことが観光誘客の一番大事なことだと思っています。

それから放射能問題についても危惧されるが、負けないような誘客推進を図るためには、大きな山の工事をするより、部分、部分の整備を進めること。

そしてもう一つ道路整備について、歩く、自転車で旅をするには危険な箇所が多く、車で移動する場合には、駐車場、トイレの整備が各市町とも進んでいないと感じる。

そういったことも含めて、記念品であったり、特産物であったり、魅力出しを連携していければいいと思う。

会 長 観光に携わっている方で、スタンプラリーとか広域的に取り組んでいるものがあつたら紹介してもらえないか。

委 員 今、DCキャンペーンというのをやっていて、温泉に7か所入れる1年間有効の「おもて那須手形」を1,080円で販売し、好評を得ている。

そういった面で、温泉だけではなく、ゴルフ場巡りとか色々なキーワードがあると思う。

まずは、定住の前に滞在をしてもらふ、そういったものを作り上げていき、観光、娯楽というもののほか、健康を取り入れた福祉関係の宿泊ができないか検討をしている。

委 員 資料3の保健福祉の分野に「先進医療の研究」というものがあるが、定住自立圏として研究施設をつくり、人を呼び寄せるといったようなものなのか。

事務局 5月20日に保健福祉部会を開催し、圏域全体で抱える課題の洗い出しをしたときに、救急搬送、生活習慣病予防、医師をはじめとする医療スタッフの不足、リハビリテーション体制の不足などが挙げられたが、圏域の住民が住み続けられるように、先進医療の研究もできないかと話題には出たが、事業化はされなかったということで、予算額は記載していない。

委員指摘のような研究施設を作るといった大きな話ではない。

会 長 今の話を聞いて、委員から何か提案があれば発言いただきたい。

委 員 昔であれば、開腹するような手術であっても、今は内視鏡的に行う手術が主流を占めるようになっている。

会 長 そういうものの先進医療の研究だと有意義だし、納得できると思います。

委 員 圏域内にある那須赤十字病院や国際医療福祉大病院でもかなり先端の医療を行っていて、患者への説明も行っているが、今の手術は腹部に簡単に穴をあけるだけで済むとか、今の医療の実態を地域住民向けに発信し、固定観念を取り除く機会を医療機関と自治体とが連携して開催することも可能なのかなと今の話を聞いて感じた。

委 員 圏域内（栃木県）に公設の電気自動車の急速充電設備が 5 台あるとのことだが、最近はコンビニエンスストアにも急速充電器が設置されているのをよく見かける。

会 長 要するに民間の設置状況をどこまで把握しているのかということと、それらをまとめて住民にお知らせするということが大切なのではないかと思う。

委 員 近所のコンビニエンスストアに急速充電設備が設置されており、1 日に 3、4 台が利用しているようだ。

会 長 昨年度も申し上げたが、那須野が原ハーモニーホールにパイプオルガンが設置され、著名な演奏家を呼ぶなどしてリサイタルを開催している。

委 員 そういった情報を八溝の圏域に情報提供し、音楽に興味をもっている方への周知などを図っていくようなアイデアはあるのか。

会 長 実務レベルで情報交換するなどして、お金をかけなくてもできるのではないかと思う。

委 員 道の駅の店長級の会議を開催するとのこと、テーマは地産地消、販路拡大ということになると思われるが、防災という観点も取り上げた方がいいのではないかと考える。

会 長 常陸大宮市に建設が計画されている道の駅は防災拠点も併せもち、常陸太田市にある道の駅は国土交通省の認定を受け、防災拠点、情報発信に対し別枠でお金が入っていると聞く。

委 員 道の駅は産業振興ということのほか、防災の役割も果たすと思うので、是非お願いしたい。

委 員 保健医療の分野で健康診断について連携して取り組めることはないかなと思って提案させていただく。

会 長 連携事業には、病気にならない予防、健康づくりの取組、なった後の治療体制についての項目があるが、その間には健康診断があって、早期

発見という部分で、厚生労働省も推進しているところだと思います。

例えば、胃カメラが健診として推奨されるということですが、実際にやろうとすると費用面や設備で支障があるのかなと感じる。

具体的な施策として提案はできないが、健康診断の分野で何か取組ができないかと思い発言させていただいた。

会 長 専門性が高い分野ではあるが、そもそもの受診率を高めるということも含めて、検討する素材にはなると思う。

委 員 道の駅の観光案内所では、お客様から1か所だけではなく、その時季によって流して見たいという方が多いと聞く。

八溝のホームページを拝見し、きれいで見やすいとは思いますが、これを変えるのであれば、春だったら花ということで分けて、福島でこれとこれを見て、紫陽花を見るとか、夏になったらこういくというコースを設定し、ページ連動できるようになれば、どこでも調べられ、紹介できるのではと思った。

委 員 アグリネットという農業経営者の団体があり、毎年、隣の太子町と交流を行っている。

ここでの会議など大変参考になるため、圏域に広めてはどうかと考えるが、共生ビジョンに記載することも可能なのか。

事務局 ビジョンに載せることは可能であり、各市町の事業ごとの担当者を集めた部会において、農業経営者の交流会の開催について検討したいと思う。

委 員 外部人材の確保という部分で、総務省が力を入れている地域おこし協力隊について、棚倉町でも昨年2名、今年1名、計3名いるが、隣の埴町にも協力隊がいる。テレビでも放映されており、旬なものと思っている。

圏域内で地域おこし協力隊の状況を調べて、シンポジウムのようなことを開催したら面白いのかなと思う。

協力隊の6割は定住すると聞いているので、いわゆるよそ者の意見を聞いていくことが、これから大事なことなのかなと思う。

会 長 各市町とも地域おこし協力隊を含めて外部の人材を登用していると思う。

そういった方を集めて意見を聞くということはとても大事なことだと思いますので、是非検討をお願いします。

委 員 別の委員の方が、地域の安全、安心の担保無くしては定住に繋がらないと発言されていましたが、放射能に関して避けては通れないと私も感じている。

地域の安全、安心の確立のために広域で連携するということは意味が

あることだと思う。

それと、道の駅の店長級の会議を開催することは結構だが、この辺の道の駅で那須与一の郷は、どの道の駅も狭い敷地を駐車場などに有効活用しようと工夫しているのに、施設の前に水が抜かれた池があり、バリアフリーの面にも配慮していない。

昔、花菖蒲が植えられていたときはそれなりに景観もきれいであったが、今は水も抜かれ無用の長物となっている。

安全、安心という観点からこれを改良した方がいい。

会 長  いつも使っていると気づかないこともあるが、外から見るとこういった気づきもあるので大事なことだと思う。

委 員  先ごろ、大田原市、那須町、那須塩原市で 2 週に渡って行われた全日本自転車選手権だが何千人という選手が集まり、今日も来る途中に自転車に乗っている人に 10 人以上に会うなど、自転車がブームとなっており、観光地を自転車で巡るといった人も増えている。

  コンビニエンスストアなどにも自転車のスタンドが設置されているが、今後、ある程度のポイントに休憩や雨宿りのためにスタンドを設置してはどうか。

  今後も健康づくりのために自転車人口も増えてくると思われ、観光の視点からも是非取り組んでいただきたい。

委 員  昔から八溝山に水を汲みに行っているが、携帯電話が通じないんですね。ほとんど、どの携帯電話会社も通じなくなる。

  携帯電話は現代のインフラの基本みたいなものなので、空白地域を無くすようにしてほしい。

委 員  八溝山のシンボルマークというものを作って、パンフレットに載せたり、特産物のシールにしたりできないかと思ったが、これまで検討されたことはあったのか。

会 長  昨年、シンボルマークとか、キャラクターとかそういった意見が出たと記憶しているが、その後動きはあったのか。

事務局  直接、シンボルマークを作ってはいないが、4 月に開設したポータルサイトのページを作成した業者が、八溝の「八」の字を山に似たてたロゴマークも作ってくれた。

  このロゴマークの出来がいいので、内々ではあるが、シンボルマークにしてもいいのではと考えている。

委 員  地元の皆さんに知ってもらうために、デザインを募集するのも一つの方法かなと思う。

#### 4 その他

- (1) 本日の会議録を作成し、後日、自宅又は所属団体に送付させていただく。
- (2) 次回の日程については、平成27年10月の1日（木）、8日（木）、15日（木）のいずれかで調整させていただきたい。